



八王子市立横山中学校 学校便り 令和8年度 9月号 令和8年9月15日



横山中学校 HP

「今、私ができること」

校長 長田 克

2学期が始まって3週間になります。夏休み中は大きな事故やケガもなく毎日皆さん元気に登校してきています。夏休み中熊本ならびに周辺の地域において、大きな揺れが人々を襲いました。また、千葉では豪雨による浸水など自然災害の恐ろしさをテレビニュースで伝えられる情報を、ただただ祈る思いで見つめることしかできませんでした。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りします。

さて、2学期は、1年で一番長い学期と言われています。そして、大きな学校行事もたくさんあります。充実したものにするかどうかは皆さん自身にかかっています。

始業式で「目標をもって生活をしよう」というお話をしました。実際、そんなに簡単に出来るものではないと思います。常に、このことを意識して生活をしてください。さらに2学期は、皆さんに考えてほしいことがあります。「今、私にできることは何だろう」と言うことです。3年生が今できることは・・・、2年生が今できることは・・・、1年生が今できることは・・・。生徒会も代替わりし、委員会や係活動も後期になって入れ替わります。皆さんには活躍する場面が数多くあります。学校の主役は言うまでもなく皆さん方、生徒です。授業で、クラスで、部活動で、委員会や係活動で、どうしたら集団がより良くなるか？そのためには「今、私に何ができるだろうか」と考えられる人になってほしいということです。

先生に言われたからやる、とか高校入試に有利だからやるなんてことを考えているならやらないほうがいい。アメリカ第35代大統領ジョン・F・ケネディはその就任演説の中で“*And so, my fellow Americans: ask not what your country do for you- ask you can do for your country.*”「アメリカ国民のみなさん、国があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたが国のために何ができるかを考えてください」と話しました。学校や先生が生徒のために何かしてくれるのを待つのではなく、生徒である皆さんが「学校のために何ができるか」という発想の転換をしてほしいと思います。

ここにいる約450人の人がそれぞれ「自分に何ができるか」を考えて行動したら、これはもう相当すごいことになると思います。あっという間に学校は変わると思います。

What I can do now. ～今、私ができること～ 今日から意識し、行動に変えてください。

【1学期学校評価アンケート調査】		前期学校評価アンケート結果です。ご協力ありがとうございます。					
項目		評価	生徒	保護者	生徒	保護者	
			1学期	1学期	1学期	1学期	
1	学校の経営方針や教育目標を知っている。	当てはまる	54%	20%			
		やや当てはまる	33%	57%			
		やや当てはまらない	5%	13%			
		当てはまらない	1%	4%			
		分からない 回答できない	7%	6%			
2	学校が力を入れて行っている取り組み(「小中一貫教育」「グローバル人材の育成」)などについて知っている。	当てはまる	48%	23%			
		やや当てはまる	29%	51%			
		やや当てはまらない	3%	19%			
		当てはまらない	1%	2%			
		分からない 回答できない	19%	4%			
3	本校が散田小学校、横山第二小学校と合同で行う取組(授業体験、あいさつ運動、クリーン作戦、合同研修会)などを知っている。	当てはまる	60%	72%			
		やや当てはまる	21%	27%			
		やや当てはまらない	3%	1%			
		当てはまらない	1%	0%			
		分からない 回答できない	14%	0%			
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	当てはまる	83%	51%			
		やや当てはまる	14%	39%			
		やや当てはまらない	1%	5%			
		当てはまらない	0%	0%			
		分からない 回答できない	2%	4%			
5	学校は「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切な、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	当てはまる	76%	36%			
		やや当てはまる	21%	50%			
		やや当てはまらない	0%	5%			
		当てはまらない	1%	0%			
		分からない 回答できない	3%	8%			
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	当てはまる	75%	39%			
		やや当てはまる	21%	42%			
		やや当てはまらない	1%	5%			
		当てはまらない	0%	3%			
		分からない 回答できない	2%	12%			
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	当てはまる	65%	51%			
		やや当てはまる	30%	34%			
		やや当てはまらない	1%	4%			
		当てはまらない	0%	2%			
		分からない 回答できない	4%	10%			
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。	当てはまる	78%	42%			
		やや当てはまる	18%	42%			
		やや当てはまらない	1%	4%			
		当てはまらない	0%	0%			
		分からない 回答できない	3%	12%			
9	学校の子どもの学習活動に対する評価は、適切・公平である。	当てはまる		19%			
		やや当てはまる		49%			
		やや当てはまらない		15%			
		当てはまらない		3%			
		分からない 回答できない		14%			
10	学校は子どもたちがより良い学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	当てはまる	80%	41%			
		やや当てはまる	17%	50%			
		やや当てはまらない	0%	3%			
		当てはまらない	0%	2%			
		分からない 回答できない	2%	5%			
11	学校が「はちおうじっ子 キャリアパスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	当てはまる	71%	60%			
		やや当てはまる	23%	35%			
		やや当てはまらない	2%	2%			
		当てはまらない	0%	0%			
		分からない 回答できない	4%	4%			
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	当てはまる	75%	35%			
		やや当てはまる	21%	52%			
		やや当てはまらない	1%	3%			
		当てはまらない	0%	1%			
		分からない 回答できない	3%	10%			
13	学校は、保護者・地域に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	当てはまる		67%			
		やや当てはまる		27%			
		やや当てはまらない		4%			
		当てはまらない		1%			
		分からない 回答できない		1%			
14	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもたちに対しての教育)に取り組んでいる。	当てはまる		32%			
		やや当てはまる		39%			
		やや当てはまらない		4%			
		当てはまらない		2%			
		分からない 回答できない		24%			

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。全体的に「当てはまる」「やや当てはまる」の肯定的評価が高いと感じます。「9」評価・評定については、評価は授業内の学習活動で身に付いた力等を3観点で評価をします。評価は授業内で知識及び技能を習得したり、課題解決に向けて思考・判断・表現したり、試行錯誤して粘り強く学習活動に取り組む態度などを見取ります。例えば授業に遅刻したことや授業中寝ていることは学習の評価ではなく生活指導面の問題ですので評価材料にはしませんし、ノートを出したか、出さないかで評価するものではありません。ノートに授業のねらいについて、学びが深まっているか、考えたプロセスや振り返りの記述を基に学びが深まっているかを見取り評価するものです。宿題については評価材料としての視点ではなく、生徒一人ひとりが学習内容を家庭で振り返り、繰り返し学習したり、考えをレポートにまとめたりすることで復習を兼ねた学びの定着を図るものであると捉えています。より適切な評価・評定にするために評価材料は今後も精査が必要であると考えています。